

ウツデイエイジ



木材の新しい物理・化学加工
木から作る高吸水性材料
パルプ材から造作用集成材をつくる(2)

ウッドエイジ

木材の研究と普及
第40巻・通巻472号

目次

木材の新しい物理・化学加工

—実用化を目指した最近の研究動向—…………… 1 A

- 木から作る高吸水性材料…………… 1
パルプ材から造作用集成材をつくる(2)…………… 5
—ひき板の仕上がり厚さ予測装置の開発,
四材面鉋削から定尺鋸断・接着剤塗布工程—
ヨーロッパみてある記…………… 10
—西洋きのご事情—
(その9)

技術のおたずねにこたえて

- 〔針葉樹の構造用製材の日本農林
規格での表示について〕…………… 4
〔カラマツのアンモニア着色処理〕…………… 9

内外の話題…………… 17

- 〔カイガンショウの高温乾燥〕
〔今流行の天然乾燥〕
〔モミおよびトウヒの高温乾燥〕
〔ポプラの高温乾燥〕

林産試ニュース…………… 19

—スイス オステルムンディゲン 農家—

18世紀末に多く見られた様式で、大きな木組みで合掌組の屋根を張り出させ、非常に彫りの深い表情を造っている。破風の内側は優美な曲面で囲われ、精緻な装飾が施されている。